

第 59 号 伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校を令和 10 年 4 月 1 日に統合することについて、同意できない旨の討論を行います。

社会の大きな変化と急激な少子化の中でも、将来にわたって高校教育の学びの質を保証する高校改革、「新たな学びの推進」と「新たな高校づくり（再編・整備）」について、その主旨は理解するものです。

しかし、今議会に提案されている統合案の一つ、伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校に関しては、その前提となる関係者、住民の合意が不十分です。

私も当初から、上伊那の住民のみなさんが取り組んだシンポジウムに参加するなど、不安や問題点について現地の話をお聞きし、本議会の一般質問等で取り上げてきました。

上伊那は他地区に比べ将来的な子どもの減少が小さいこと、今でさえ地元の高校への入学率が低いこと、そして、新校への統合による学級減で普通科の枠がさらに狭められること等が指摘されてきましたし、少人数学級で今の高校の存続を求める声も根強くありました。

こうして、地域で熱心に話し合いを重ね、その結果納得できないとして統合案の撤回を求める署名は短期間に 4817 名寄せられ、さらにこの 2 月にも教育委員会に直接要請が行われています。

不安や問題点は解決されておらず、このままでは禍根を残しかねません。期限を決めて結論を急ぐのではなく、時間をかけて丁寧な説明と住民合意を重視すべきではないでしょうか。

この間の経過と、今後具体化されるであろう他地区の再編・整備をかんがみても、伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校を令和 10 年 4 月 1 日に統合することについて同意できません。

以上討論といたします。